

社会资本総合整備計画 事後評価書

令和08年01月20日

計画の名称	水戸市における水災害に強いまちづくりの推進（防災・安全）											
計画の期間	令和05年度～令和06年度（2年間）											
交付対象	水戸市											
計画の目標	集中豪雨の頻発化、台風の大型化や都市化の進展等に伴う水災害リスクの増大に対し、洪水時の浸水想定区域を公表することで人的被害の軽減に資する。 一級河川と一体連続する準用河川区間に於いて浸水想定区域を公表することにより、水害リスク情報の空白地帯の解消を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	15	A	15	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A + B + C + D)	0%

備考等	個別施設設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	------------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

水戸市建設部建設設計画課が実施

事後評価の実施時期

令和7年度

公表の方法

水戸市ホームページに掲載

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

準用河川（沢渡川・石川川・狭間川）において、浸水想定区域図を公表し、河川の洪水による水害リスクを広く市民に周知し、洪水時の円滑かつ迅速な避難に寄与するものとなった。

定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

国・県管理河川の洪水浸水想定区域図が公表されたことに連携し、市街化区域近傍の準用河川区間の水害リスク情報の空白地帯解消に取り組む。今後は、残された準用河川について土地利用の状況等を勘案しながら、水災害に対する防災意識向上を検討していく。

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	